

令和2年度第1回八幡市入札制度懇話会

1. 開催日時 令和2年7月28日(火)10時00分から12時15分まで

2. 場 所 八幡市文化センター3階 会議室3

3. 出席者 (敬称略)

会 長	岡山 敏哉	大阪工業大学 工学部建築学科教授
委 員	大田 直史	龍谷大学 政策学部政策学科教授
	安枝 伸雄	安枝法律事務所 弁護士

事務局 総務部技監、総務部契約検査課長 他3名

抽出案件担当者 9名

傍聴者 1名

4. 次 第
1. 開会
 2. 会長挨拶
 3. 懇話会の公開について
 4. 協議事項
 - (1) 総括、指名停止等の運用状況、談合情報対応状況について
 - (2) 抽出案件について
一般競争入札6件、指名競争入札6件、随意契約2件
 - (3) 検討課題について
・最低制限価格の算定に用いた α の公表について
 5. その他
 6. 閉会

5. 議事概要
- (1) 懇話会の公開について
会議のうち協議事項(3)までを公開とし、5.その他以降を非公開とすることを決定した。
 - (2) 総括、指名停止等の運用状況、談合情報対応状況について
指名停止等の運用状況、談合情報対応状況について報告した。
 - (3) 抽出案件について
別紙1のとおり協議を行った。
 - (4) 検討課題について
検討課題について協議を行い、別紙2のとおり意見を得た。
 - (5) その他について
指名停止等の運用状況のうち非公表情報について報告した。

協議事項（２）抽出案件について

【抽出案件一覧（説明順）】

番号	業務区分	入札契約方式	案件名称	担当課
1102103	工事	一般競争入札	令和元年度男山第三中学校屋内運動場等空調設備整備工事	教育総務課
1102104	工事	一般競争入札	令和元年度男山第二中学校屋内運動場等空調設備整備工事	教育総務課
1102108	工事	一般競争入札	令和元年度八幡市公共下水道事業八幡福祿谷地区下水道改良工事及び令和元年度八幡福祿谷地区配水管布設替工事	上水道課
3102101	物品	一般競争入札	可燃・不燃・プラスチック製容器包装収集運搬業務委託（令和２年度開始３台分）	環境業務課
3102102	物品	一般競争入札	可燃・不燃・プラスチック製容器包装収集運搬業務委託（令和２年度開始３台分）	環境業務課
1202116	工事	指名競争入札	令和元年度市単独事業道路維持補修工事（その20）及び令和元年度八幡科手地区既設水道管撤去工事	道路河川課 上水道課
2202102	コンサル	指名競争入札	市営住宅一丁地団地第1・2棟耐震診断・補強設計他業務委託	住宅管理課
2202103	コンサル	指名競争入札	市営住宅一丁地団地第1・2棟耐震診断・補強設計他業務委託	住宅管理課
1102101	工事	一般競争入札	八幡市新本庁舎整備事業に係る新別館新築工事	総務課
1202106	工事	指名競争入札	八幡市新本庁舎整備事業に係る公用車車庫解体工事	総務課
2202106	コンサル	指名競争入札	八幡市新本庁舎整備事業に係る工損調査業務	総務課
1302101	工事	随意契約	八幡市新本庁舎整備事業設計・建設工事	総務課
3202103	物品	指名競争入札	令和元年度備前遺跡試掘確認調査業務委託	文化財保護課
3302108	物品	随意契約	東京2020オリンピック聖火リレー及びミニセレブレーション等運営業務	社会教育課

【抽出案件に関する質疑事項】

質問・意見	回答
1102103 令和元年度男山第三中学校屋内運動場等空調設備整備工事	
・入札の辞退が多いが、この工事に対して、参加資格のある企業の能力はどうだったのか。	工事規模によって参加資格要件を設定しており、本案件の申込業者についても、当該工事をしっかり施工できるような業者となっている。

1102104 令和元年度男山第二中学校屋内運動場等空調設備整備工事	
・市内業者と市外業者で資格要件が異なるが、そうすると市外業者は参加しにくいのではないかと。	今回、市外業者の参加がないのは、災害対応型空調設備整備工事の事例が、全国的にかなり少なかったことが原因ではないかと思う。
・不調になったということだが、その後どうしたのか。	・再入札を行う時間がなかったため、入札に参加した業者に内容を精査した見積書を依頼し、随意契約とした。
・入札が不調となった後の随意契約の価格の適正性は、どのように判断しているのか。	・最低制限価格以上、予定価格未満の範囲という金額的な要件で判断している。
・今回は新しい工事なので仕方がないが、同様に特殊性の高い案件で、入札者が少ないことが予測される場合の対策を考えておく必要がある。(意見)	
1102108 令和元年度八幡市公共下水道事業八幡福祿谷地区下水道改良工事及び令和元年度八幡福祿谷地区配水管布設替工事	
・入札が不調となった時に、最低制限価格を下回っていたという結果は、業者に通知されるのか。	・最低制限価格未満であったという文言の通知はないが、入札条件に満たないため取りやめるという通知があることと、入札前の公告の中で最低制限価格に満たない場合は失格と記載があることから、業者は最低制限価格未満であったということ推測できる。
・設計変更をして再入札を行う場合は、指名される全ての業者に対して、設計変更の内容についての同程度の情報提供が必要だと思う。	・設計変更後に再入札を行う場合は、再公告や再通知を行うため、全ての業者が同じように、設計書等を確認して変更内容がわかるようになっている。
3102101、3102102 可燃・不燃・プラスチック製容器包装収集運搬業務委託（令和2年度開始3台分）	
・受託者が自ら受託業務を実施する者という資格要件があるが、その要件の確認はどのようにするのか。	・その資格要件を満たすという誓約を入札参加申請の提出時に求めており、その内容を業者が遵守する前提で、入札を行っている。
・金額を間違えて入札してしまった場合の取扱いはあるか。	・金額を正しく入れていたら落札するような場合でも、金額間違いは失格となる。
1202116 令和元年度市単独事業道路維持補修工事（その20）及び令和元年度八幡科手地区既設水道管撤去工事	
・辞退が多い理由はわかるか。	・例年1月以降の入札で、低い等級の業者を指名する工事では、工期が短いということもあり、辞退が多い傾向となっている。

<ul style="list-style-type: none"> ・発注時期が遅くなった理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この案件は発注前に関係者との協議が必要な工事であり、その協議に時間を要したことで発注が遅れた。また、協議の結果、年度内に工事を完了させることとなったため、工期が短くなった。
<ul style="list-style-type: none"> ・今回は予測できない事情だったので仕方がないが、今後、辞退が多い傾向のある案件が出てきた時に競争性を働かせるために、何らかの対策を考えておく必要がある。(意見) 	
2202102、2202103 市営住宅一丁地団地第1・2棟耐震診断・補強設計他業務委託	
<ul style="list-style-type: none"> ・最初の入札で不調になった原因は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推測にはなるが、昨年10月の消費税増税が決定していたことで、駆け込みで発注されるところが多く、設計業者も立て込んでいたようで、辞退が増えて不調となったのかもしれない。
1102101 八幡市新本庁舎整備事業に係る新別館新築工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・同一業者が、多くの工事を落札しているが、問題ないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この業者は、複数業種の許可を持っていて、等級も高く、技術者の数も多いので、問題ないと考えている。
1202106 八幡市新本庁舎整備事業に係る公用車車庫解体工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・落札率が高いため抽出したが、結果を見ると、競争も働いているので問題ないと思う。(意見) 	
2202106 八幡市新本庁舎整備事業に係る工損調査業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・落札率が低いため抽出したが、結果を見ると、入札金額にバラつきはあるが、額は離れすぎていることもないので、特に問題ないと思う。(意見) 	
1302101 八幡市新本庁舎整備事業設計・建設工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・結局1者のみの応募であったが、点数はどのように評価されたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価要領に沿って評価しており、一定基準以上あれば、候補者としている。なお、評価委員会の講評として、どのような点がどういう評価となったのかは、具体的に公表している。
<ul style="list-style-type: none"> ・評価委員の構成はどうなっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学教授3名、京都府職員及び市職員となっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計を踏まえた合理的な設計提案という評価項目について、基本設計の受注者でもあるこの業者の点数が低い理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水対策として2階の床を高くすることで出てくる構造的な問題を解決するため、基本設計ではエレベータを折り返して設置する計画としていたが、技術提案では周辺への影響や来庁者の動線ま

	<p>でを考慮しきれていない別の計画で提案されてきたので、低い点数となった。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・提案価格の評価項目について、価格提案率が 100%に近いが、どのように評価しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当該項目は、評価委員会で議論の上、他項目の点数とのバランスを考慮して配点した。素点を 5 点として、評価要領記載の計算式によって 15 点の幅で評価を行った。
<ul style="list-style-type: none"> ・価格点の評価幅である 15 点の部分が 0 点というのは、提案価格としてはどうなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上限価格より安い金額に対して加点するという事は提案者もわかっていたと思うが、それでも相場としてはもう少し高いということを主張されているのではないか。
<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計をするにあたって、この業者に対して、基本設計通りには是正してほしいということは言っていけるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者の VE 提案は却下しているのでは、採用されていない。
<ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザルでも、入札と同様に、競争は働かせる必要があると思うので、1 者しか参加がない時には、どのような方法が本当に良いのかは検討していかないといけない。(意見) 	
<p>3202103 令和元年度備前遺跡試掘確認調査業務委託</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・調査業務であれば、人件費の割合が多いのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費は 7~8 割程度で、残りは機器のリース代等が占めている。
<ul style="list-style-type: none"> ・最低制限価格は設定しないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務区分が物品の案件なので、最低制限価格を設けていない。
<p>3302108 東京 2020 オリンピック聖火リレー及びミニセレブレーション等運営業務</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・評価委員の構成はどうなっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価委員は、庁内関係部署の 5 名で構成している。
<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックが延期されたが、プロポーザルからやり直すのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・延期になったため、先日、契約期間の変更契約を行った。今後、内容も含め、必要に応じて見直しを行う。

協議事項（3）検討課題について

主たる意見
最低制限価格の算定に用いた α の公表について
・意見なし